

エレベーター仕様要項

分類	仕様項目	01号機	
基本仕様	機種名称	三菱機械室エレベーター AXIEZ	
	機種形式	P11-CO-45	
	用途	乗用	
	制御方式	可変電圧可変周波数制御 (再生なし)	
	操作方式	乗合全自動方式 (1C-2BC)	
	積載量	750kg	
	定員	11名	
	定格速度	4.5m/min	
	戸閉方式	2枚戸両引き (CO)	
	出入口幅	800mm	
	出入口高さ	2100mm	
	かご室サイズ (内法開口)	1400mm	
	かご室サイズ (内法奥行)	1350mm	
	かご室サイズ (内法高さ)	2280mm	
	出入口方式	一方出入口	
その他基本仕様	正面制停止数	2停止 (1-2階)	
	動力用電源	AC3φ-210V-60Hz	
	照明用電源	AC1φ-100V-60Hz	
	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14	
	公共建築工事標準仕様 適用年	平成28年版	
	数値開隔	10mm	
	ドアセンサー機能	マルチビームドアセンサー2D	
	車いす仕様	あり (制御機能)	
	視覚障がい者対応仕様	あり	
	地震時管制運転方式	P波+S波センサー3段設定 (普通級)	
	停電時自動着床装置 (MELD)	あり	
	乗場仕様	乗場三方枠	大特長広幅板なし 301mm×600mm ステンレスヘアライン (1-2階)
		乗場戸	鋼板塗装 (メーカー標準色) 仕上 (1-2階)
		乗場床	アルミ製 (1-2階)
		乗場インジケータ	一体セグメントLED ステンレスヘアライン (1-2階)
乗場インジケータボタン		ステンレスクリックボタン (凸文字)・黄橙色LED (1-2階)	
休止灯		あり	
車いす専用乗場プレート		一般乗場プレート一体形 ステンレスヘアライン仕上 (1-2階)	
車いす専用乗場ボタン		ステンレスクリックボタン (凸文字)・黄橙色LED (1-2階)	
乗場休止スイッチ		乗場インジケータボタン	
かご室仕様		天井	CL1: LEDフラット (白色LED)
		かご室壁・戸	化粧鋼板
		袖壁・出入口柱	ステンレスヘアライン仕上
		巾木	アルミ製
		かご床	樹脂タイル2mm (三菱標準タイル)
		かご室床	アルミ製
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤	
	かご操作盤プレート材質・仕上	ステンレスヘアライン	
	かごボタン	ステンレスクリックボタン (凸文字)・黄橙色LED	
	正操作盤インジケータタイプ	かご内液晶インジケータ (5.7インチ) CUDO認定品	
	かご操作盤液晶表示言語	4か国語ガイド (通常時: 日英、緊急時: 日英中韓、1画面表示)	
	車いす専用かご操作盤	両側面に設置 プレート: ステンレスヘアライン仕上	
	車いす専用かご操作盤インジケータタイプ	セグメントLED	
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン (凸文字)・黄橙色LED	
	その他仕様	かご室換気	ラインフローファン
かご室手すり		丸形ステンレス 二面取付 (両側面)	
かご室壁		合せガラスアルミ枠付 (570mm×1400mm)	
キックプレート		ステンレスヘアライン仕上 (ビスなし) 高さ: 床面より350mm	
壁保護		あり (磁石式)	
床保護マット		あり	
気配りドア		あり	
ホールモーションセンサー3D		あり	
遠隔機能		ディフェンスドア 2枚戸両引き用 (1-2階)	
点字名板取付方法		接着	
インターホン呼び出しボタン応答灯 (聴覚障がい者対応仕様)		あり	
おもり非常止め		なし	
火災時管制運転方式		火報信号連動式	
インターホン型式		6V1局	
乗場インターホンボックスタイプ		ステンレスヘアライン仕上 (埋め込み形) TPB-922	
かご内アナウンス	かご内4か国語アナウンス (通常時: 日英、緊急時: 日英中韓)		
かご室スピーカー	あり		
高調波対策種類	ACリアクトル (Ki=1.8)		
フェッシャープレート	エレベーター手配 (2階)		
レール支持方式	1フロア1ブラケット		
煙感知器接続口スイッチ	あり		
仮設動力電源	1式 (MN19044215)		

No.01号機

除外工事事項

- 建築工事関係**
- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事 (昇降路壁は5cm² 辺り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること)
 - 鉄骨構造用のファスナー、立柱及び中間ビーム (必要の場合) 並びにシキイ受材の設置工事
 - 鉄骨構造用の三方枠、インジケータ、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼材設置工事
 - 各階乗場出入口枠周囲のモルタル建込工事
 - 乗場機器取付け後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
 - 昇降路頂部にエレベーター機器搬送用のフック又はビームの設置工事 (20N) / 台
 - 遮断層がある場合の非発白設置工事
 - ビッド内防水工事
 - ビッド床干渉使用の場合の建築対策工事
 - ビッドが深い場合の埋め戻し工事
 - その他建築に関する工事

設備工事関係

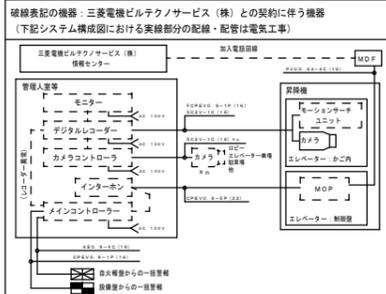
- 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事 (架け込み工事含む)
 - インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事 (0.9φ×10本) / 台
 - 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
 - 遠隔ドアご採用の場合、遠隔ドア設置階乗場ロービーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
 - エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事 (昇降路内から最寄の電話中継室まで)
 - ビッド内点検用コンセント設置工事 (照明用AC100Vとは別系統のこと)
 - 昇降路頂部の煙感知器設置工事 (外部より点検可能なこと)
- 平成20年国土交通省告示第1454号第一号より点検口は錠付 (工具を必要とするネジでも可) とし戸が開いた時はエレベーターを停止させる必要がある
- かご内カメラがある場合、かご内カメラ用配管・配線工事 (昇降路からモニター設置場所まで) 5φ-2V鋼線ケーブル
- かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御室までの引込工事 (非常放送がある場合3線式とすること)
 - 昇降路の熱気設備工事 (平成12年建設省告示1413号第1第三号により昇降路内温度を40℃以下に保つ必要があり) 発熱量 エレベーター駆動部 (約A5台) 1 + エアコン (-W / 台)

注意事項

- 昇降路開口・奥行寸法は、昇降路全域 (ビッド底部から昇降路頂部まで) にわたり確保のこと
- コンクリート強度は21N/mm² 以上のこと
- 電源電圧の変動は+5%~-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件が必要 (1) 昇降路内の温度は-5℃~40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%未満かつ急激な温度変化等により氷結、結露しないこと (2) 金属を消耗または腐食したり接点の接触不良の原因となるような塵及び化学的有害ガスがないこと (3) 塵上等落着く外気と排する乗場における雨水よけ設備 (ウシシ・風除室・水勾配・グレーチング・防雨板等)
- 昇降路壁には電気・水道等の配管・器具を埋め込まないこと 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないように願います (建築基準法施行令第129条の2の5第1項第三号) 遮断層はインターロック対応のものを使用すること 輸送可能な運送配器車や台車の重量物は250kg以下とすること
- 熱気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階階などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること (個人宅など占有部を経由しないこと)
- エレベーターから発生する高調波漏洩電流と高調波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあります 次の対策をお勧めします (1) エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する (2) エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する (エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要) (3) エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地線の分離をする
- 乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工願います。乗場機器取付け時にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策 (建築工事) を行ってください。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります
- 施工作業時間条件: 月曜日~土曜日 8:00~17:00
- ELE-Quickは三菱電機ビルテクノサービス (株) とのメンテナンス契約が必要になります。

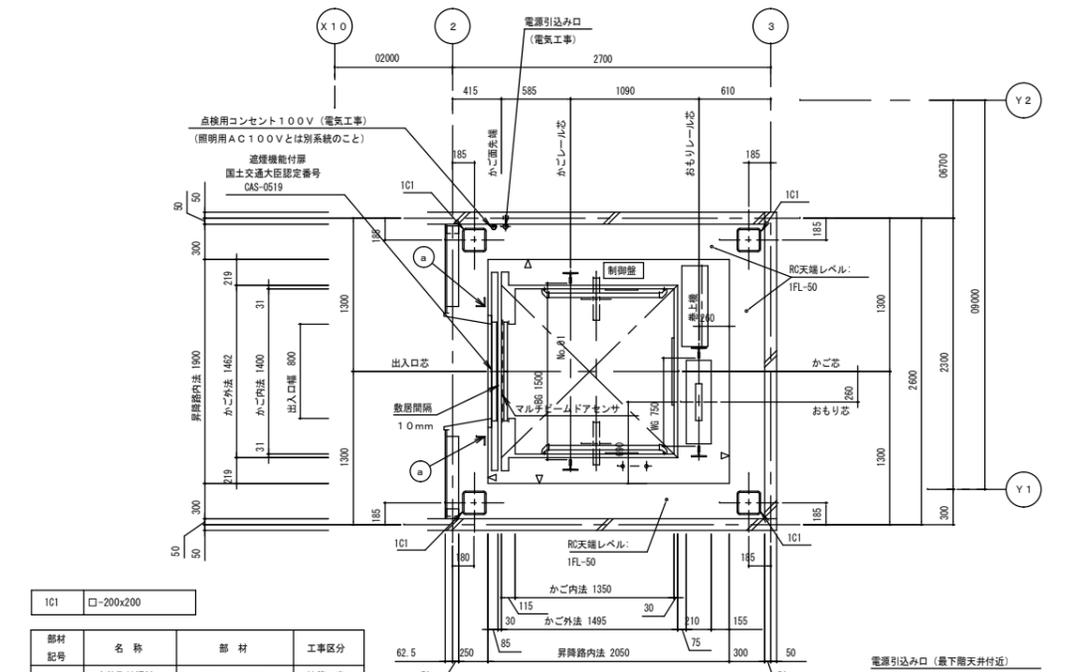
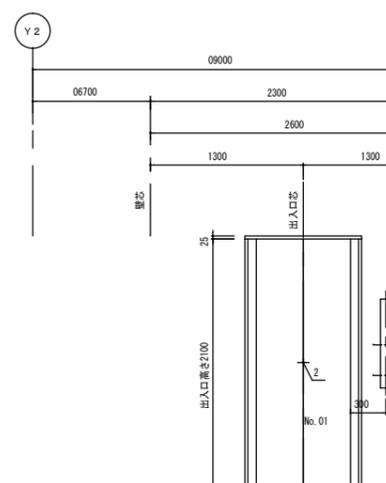
(注) エレベーターリモートメンテナンス
 *このエレベーターは、三菱エレベーターリモートメンテナンス契約「ELE-FIRST-i」対応可能機種です。
 *三菱電機ビルテクノサービス (株) とのメンテナンス契約が必要になります。
 *各サービスについては、ご契約対象のエレベーター仕様によって、一部ご提供できないものがあります。
 *リモートメンテナンス機能をより有効に活用し、「ビル遠隔監視サービス」が可能です。(デジタルレコーダー異常、各種設備故障、火災・侵入、その他)

[ELE-FIRST-iサービス仕様]
 ・地震時エレベーター自動診断&復旧システム「ELE-Quick」
 地震時管制運転装置で停止したエレベーターについて、異常の有無を自動診断し、異常がなければ運転を再開させます。
 ・遠隔診断
 診断運転モードにより、深夜などに高密度な点検を無人で行います。
 ・遠隔閉込め救出
 インターホンとカメラでエレベーター内の状況を把握し、遠隔操作によりかご内に閉込められた乗客を救出します。
 ・モーションサーチI
 かご内カメラの画像を解析し、通常でない人の動きを検出します。異常を検出すると、警告アナウンス・各階停止などのエレベーター制御、デジタルレコーダーの高調波・高密度記録を行います。
 ・モーションサーチII
 かご内カメラの画像を解析し、長時間滞留する人物を検出します。異常を検出すると、プザー警告と指定階まで自動運転しドアを開きます。



乗場遮断ドア設置上のご注意!!

- 乗場遮断ドアを設置するためには、自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても、同設備設置の必要性があります。
- 自動火災報知設備の設置義務の無い建物には、乗場遮断ドア設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し、火災感知器を自動火災警報装置を介してエレベーター制御室に供給願います。(無電圧a接点、接点電圧DC2.4V)



号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感電電流値 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
01	AC3φ210V 60Hz	3.8kW	4kVA	40AT	100mA以上 0.2秒以上	70mまで 8mm ² 121mまで 14mm ² 185mまで 22mm ²	3.5mm ²

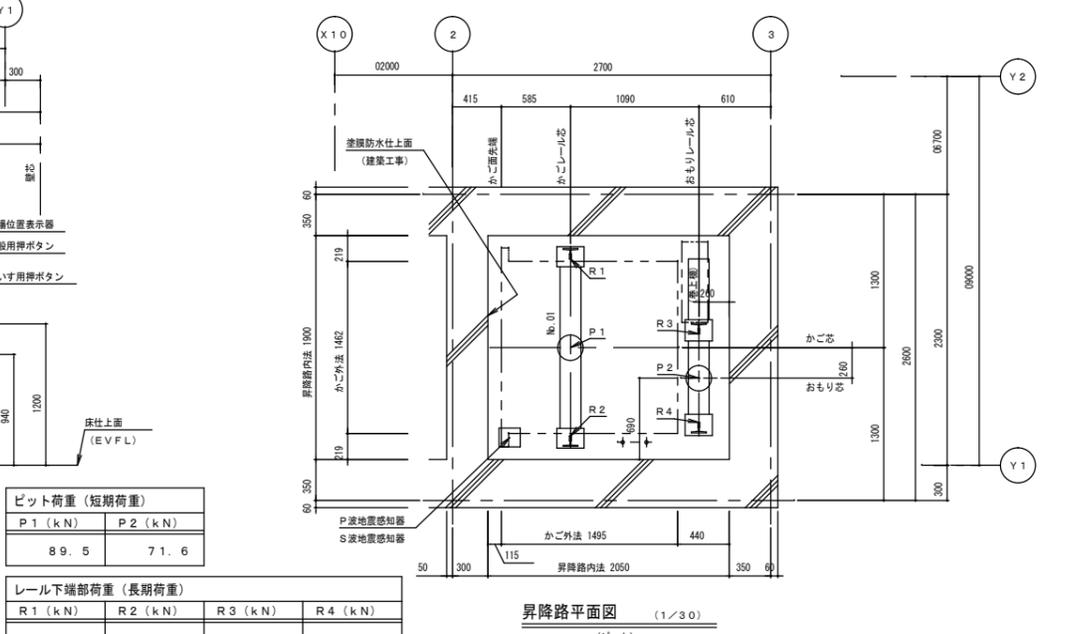
(*) 電線別に漏洩電流値を定める場合

高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P _i (kVA)	回路分類 総分N _{o.}	6/ULS 換算係数 (Ki)	6/ULS等価 容量 [Ki×Pi] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率In (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
ノイズフィルタのみ (標準)	01号機	4.8	1	4.8	31	0.4	16.2	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
ACリアクトル追加 (Ki=1.8相当)	AXIEZ(750kg・45m/min)	4.8	1	4.8	32	1.8	8.6	25	38	14.5	7.4	3.4	3.2	1.9	1.7	1.3

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

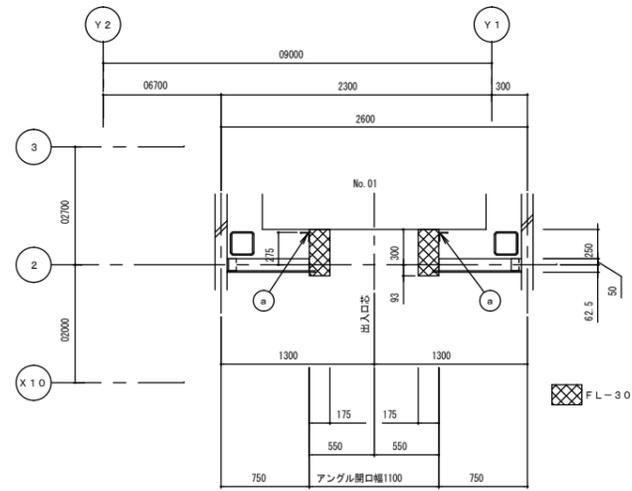
※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

各次数毎の高調波流出電流量 (mA) = $\frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$

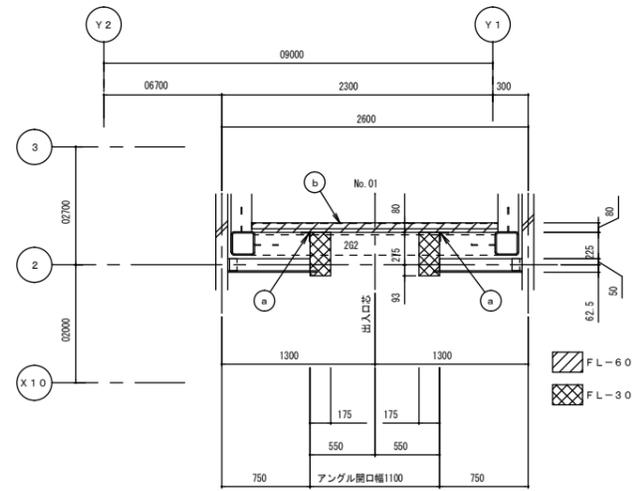


ビッド荷重 (短期荷重)	
P1 (kN)	P2 (kN)
89.5	71.6

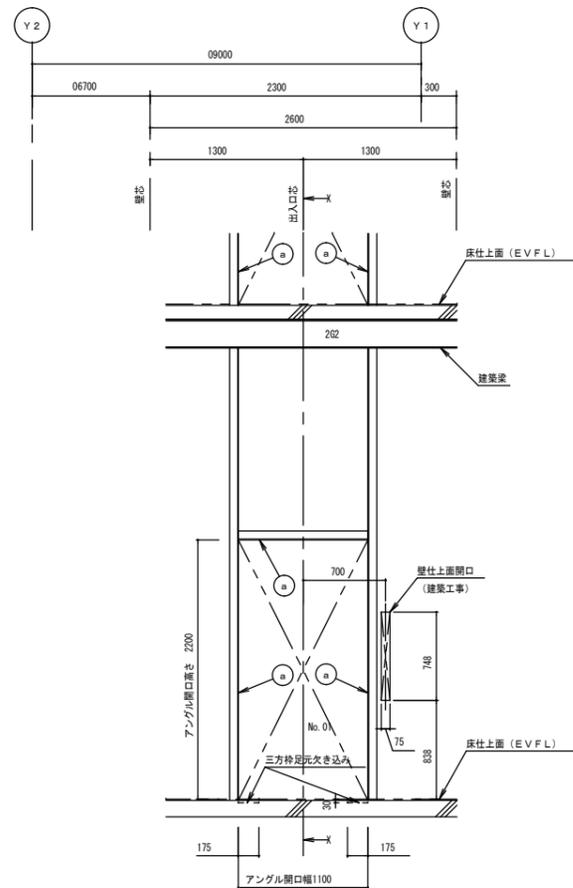
レール下端部荷重 (長期荷重)			
R1 (kN)	R2 (kN)	R3 (kN)	R4 (kN)
28.2	27.8	49.8	23.9



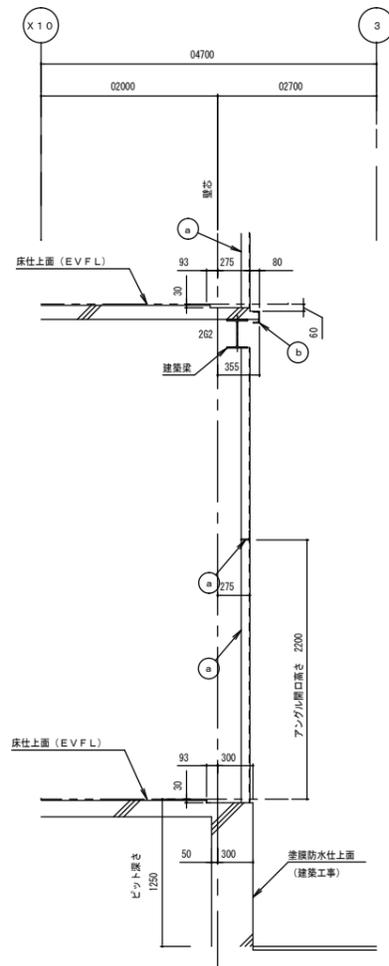
乗場平面穴あけ図 (1/30)
(1階)



乗場平面穴あけ図 (1/30)
(2階)

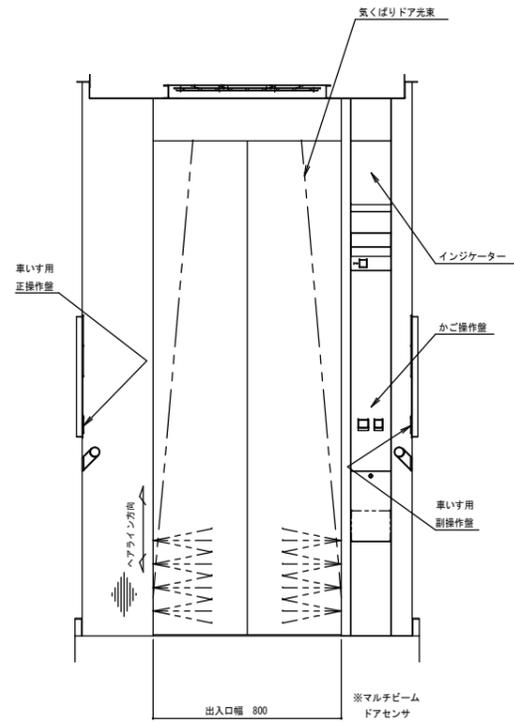


乗場穴あけ図 (1/30)
(1-2階)

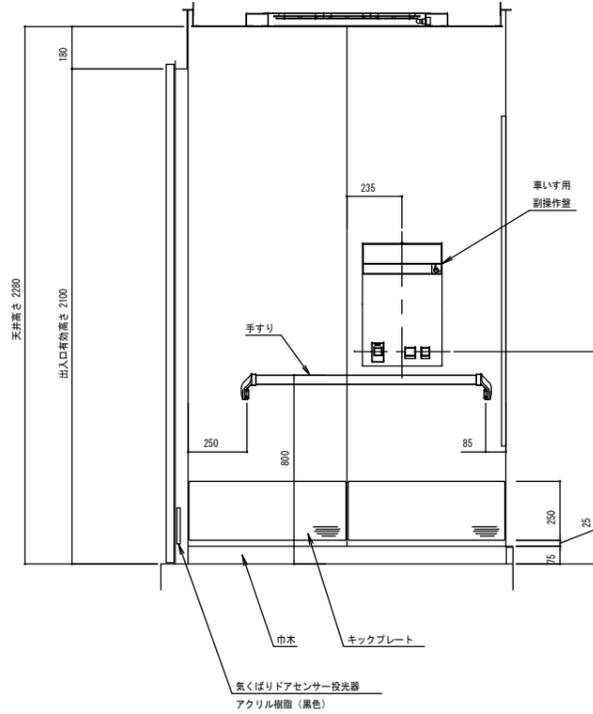


X-X断面

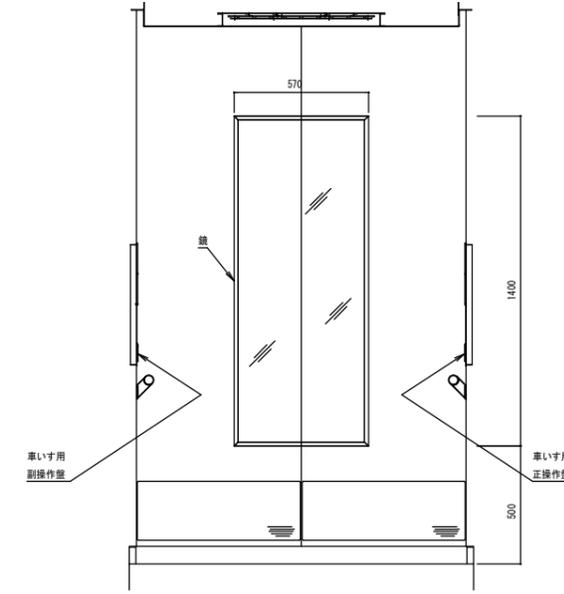
部材 記号	名称	部材	工事区分
a	三方特取付鋼材	L-75×75×6	建築工事
b	敷居取付材	[-100×50×5×7.5	建築工事



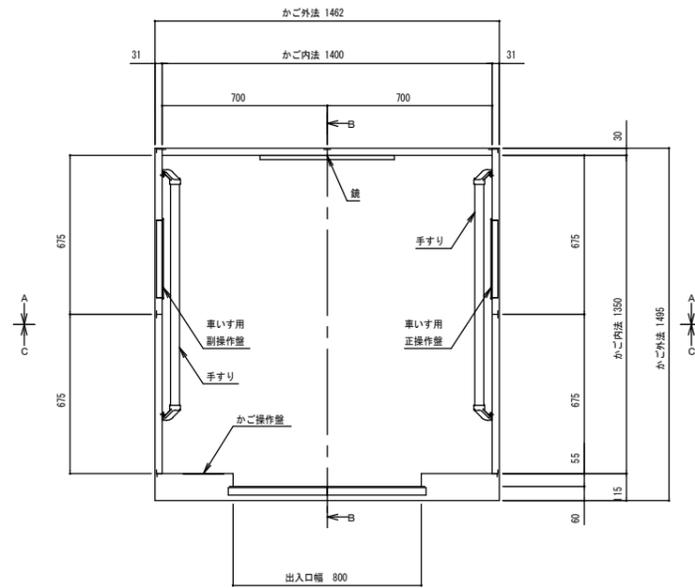
Uかご室正面図 (A-A断面)



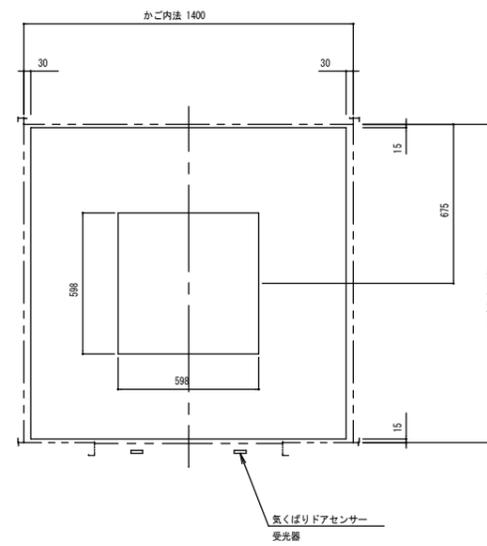
Uかご室側面図 (B-B断面)



Uかご室背面図 (C-C断面)

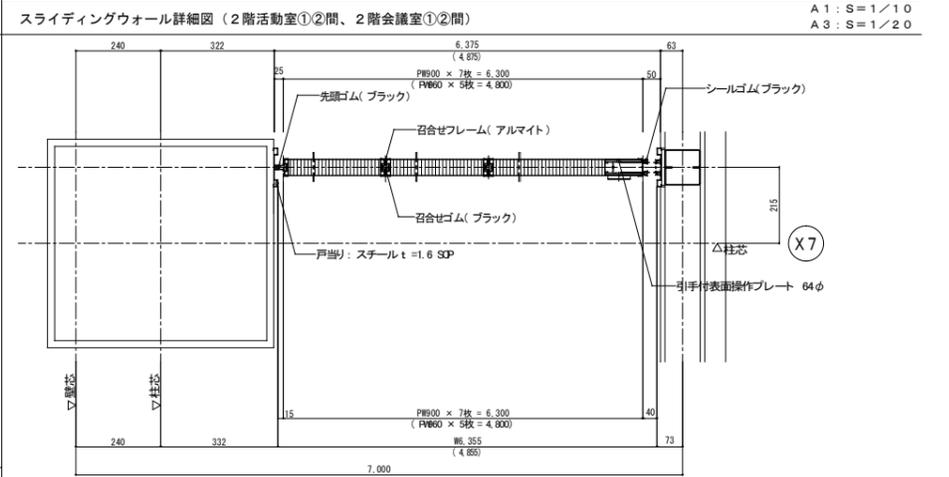
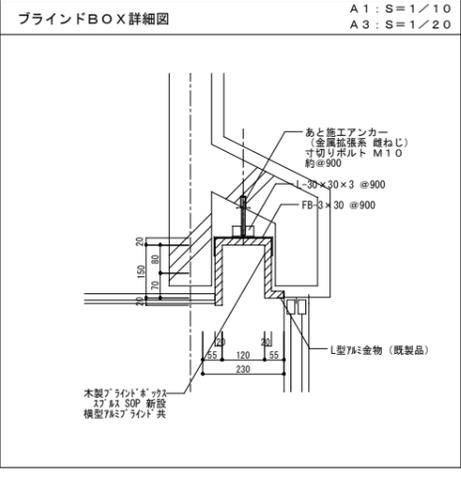
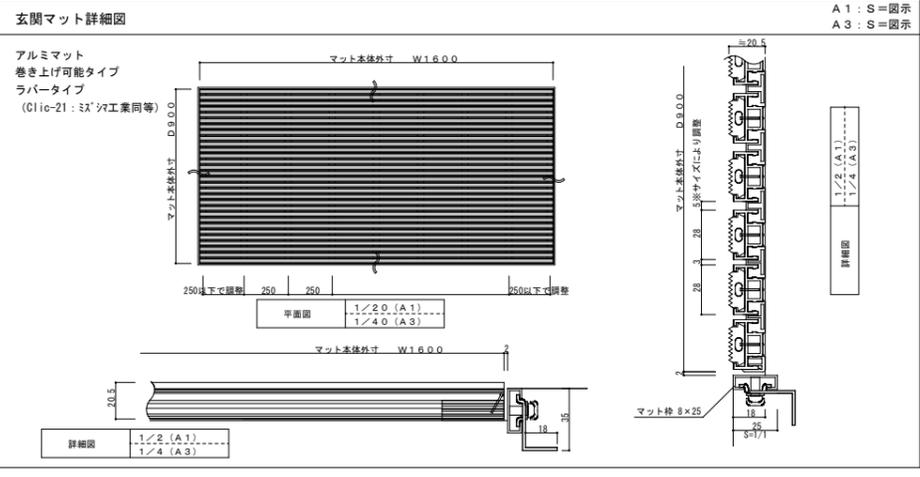


Uかご室平面図



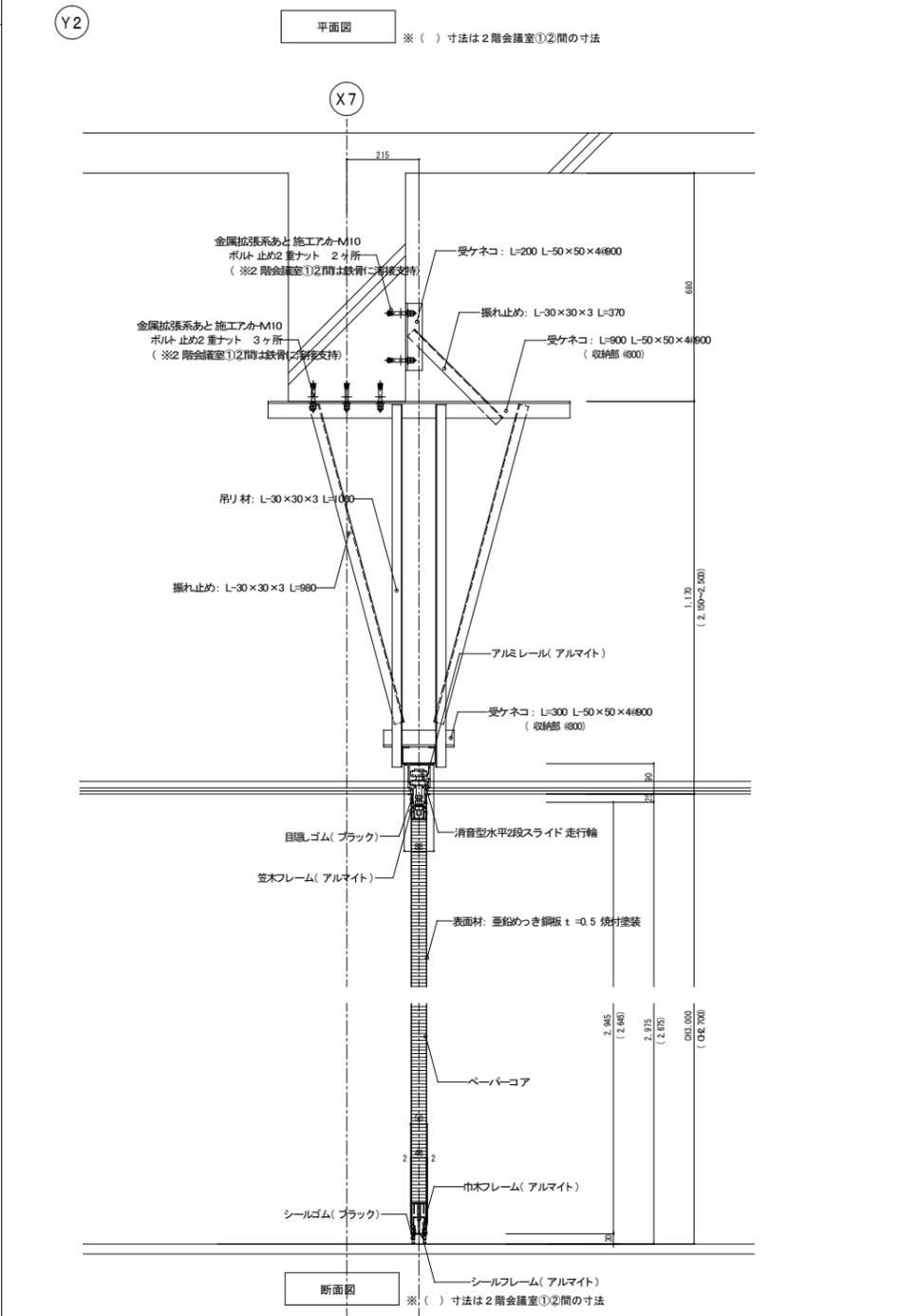
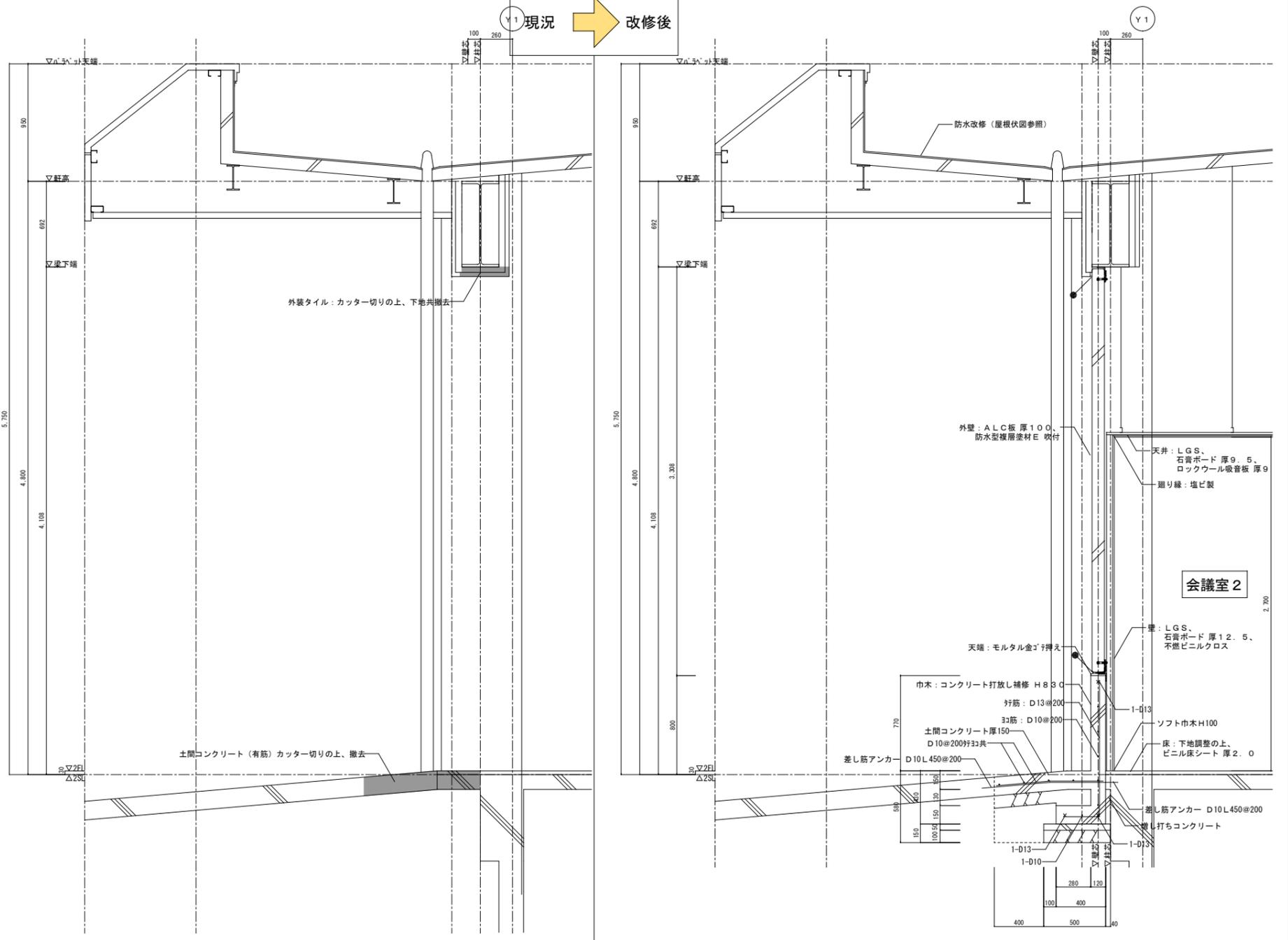
U天井伏図

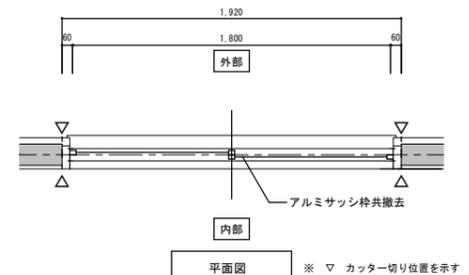
意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
照明	乳白色樹脂照明板 LED照明 (白色)
停電灯	6V 10W×1灯
換気装置	ラインフローファン
壁	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミアルマイト仕上
床仕上部	樹脂タイル t2
敷居	樹脂アルミ製
鏡	合わせガラス t6 38 枠: アルミアルマイト仕上 (シルバー)
手すり	ステンレス製パイプ: ヘアライン仕上 (038) ブラケット: アルミダイカスト (銀色塗装)
キックプレート	ステンレスヘアライン仕上: ビス無し
保護幕	あり (磁石式)
床マット	あり



新設ALC壁詳細図 (2階 Y1通り-X1~4)

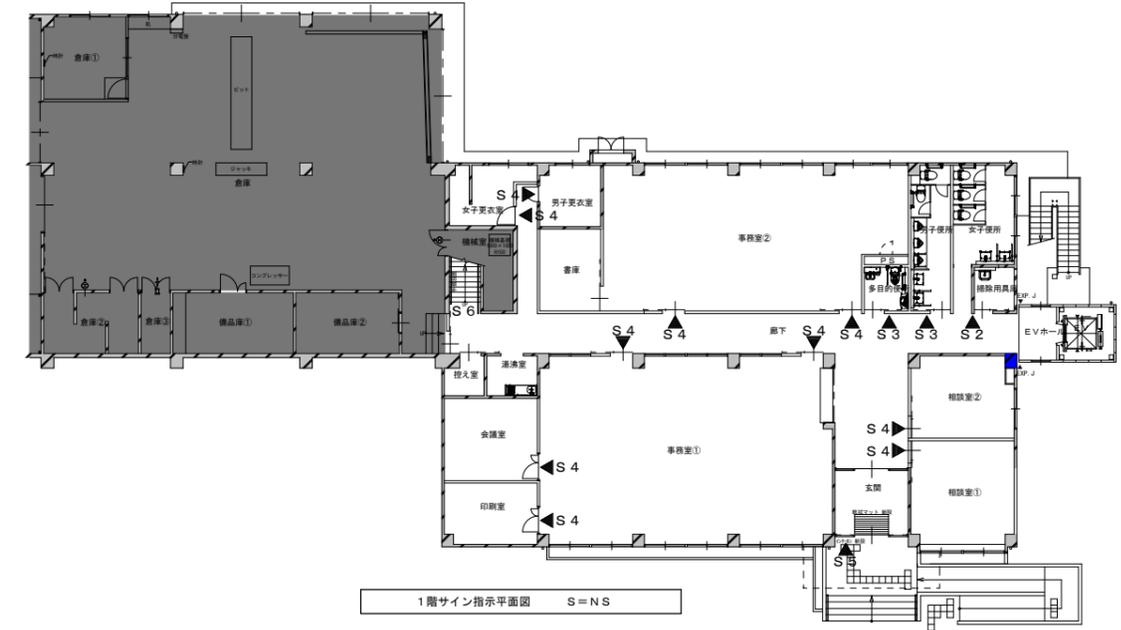
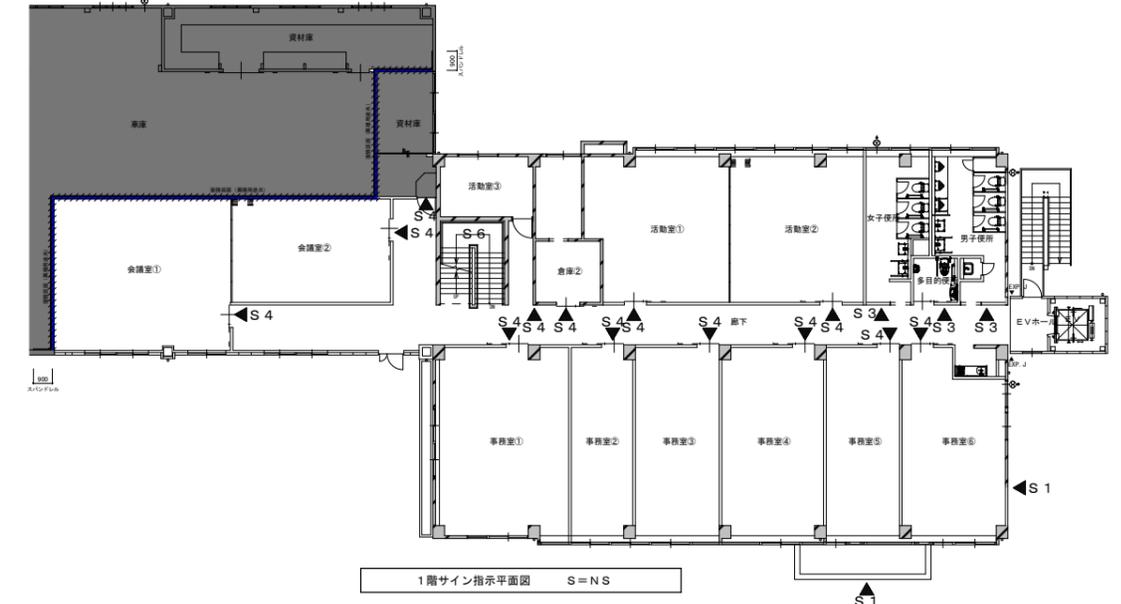
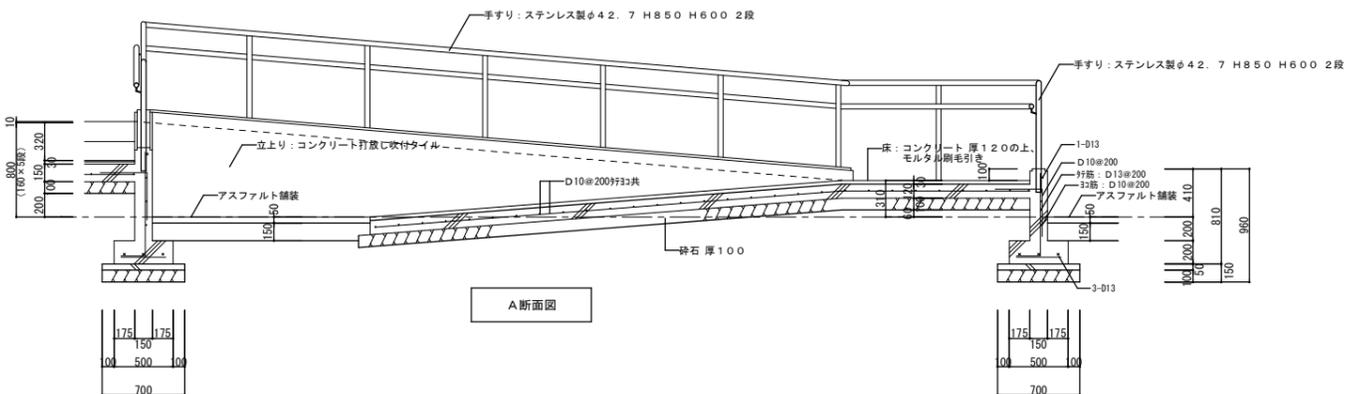
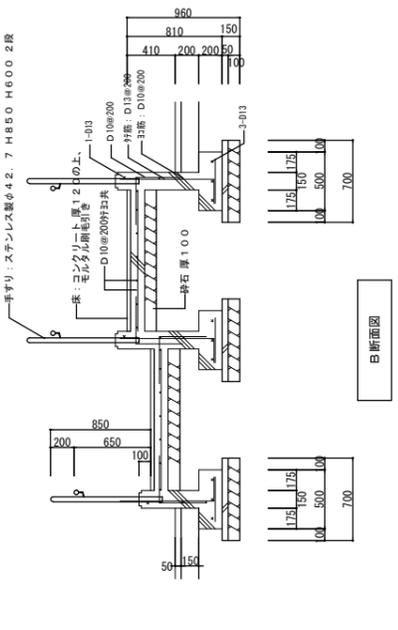
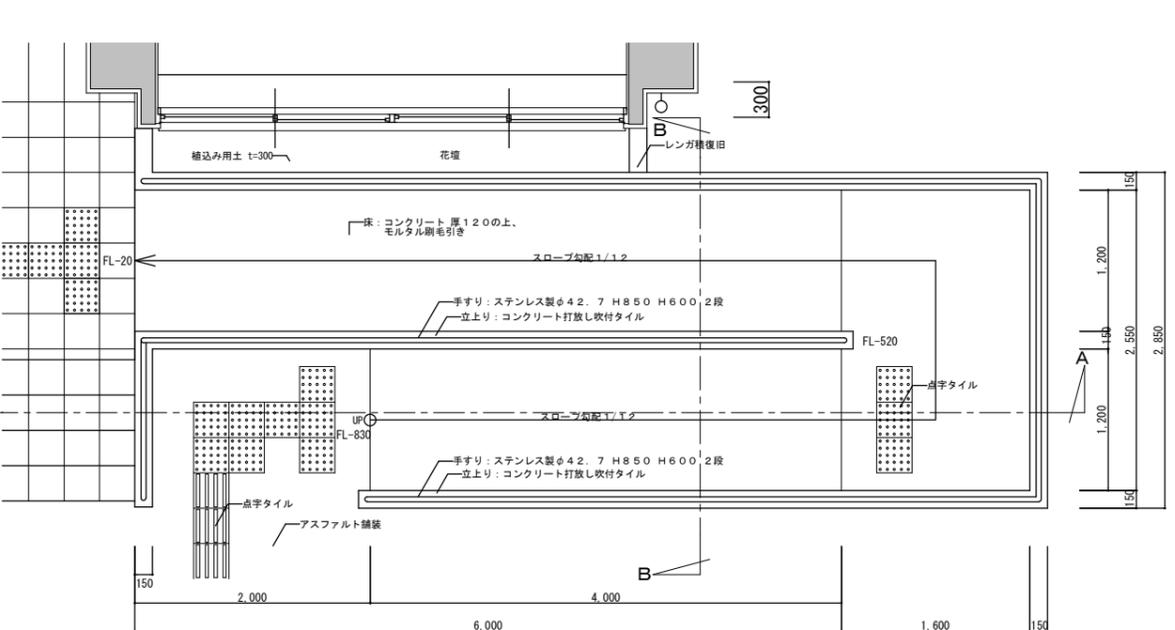
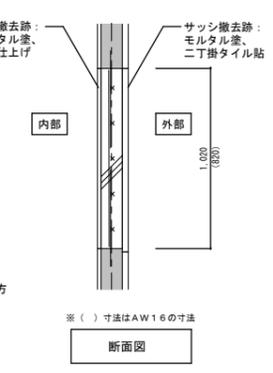
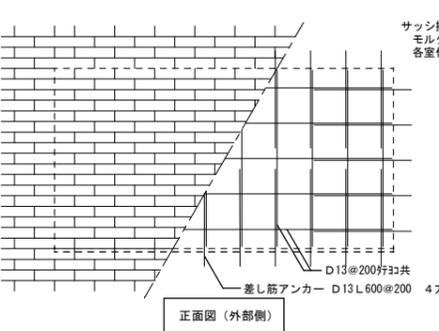
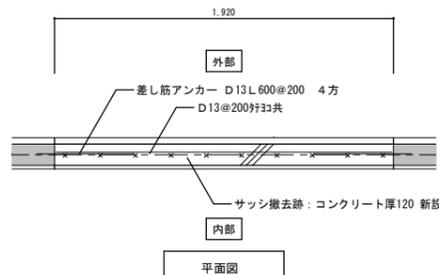
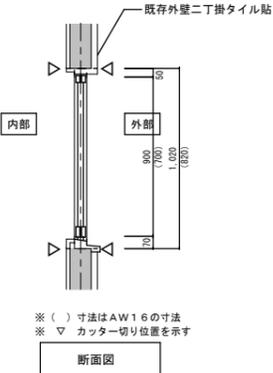
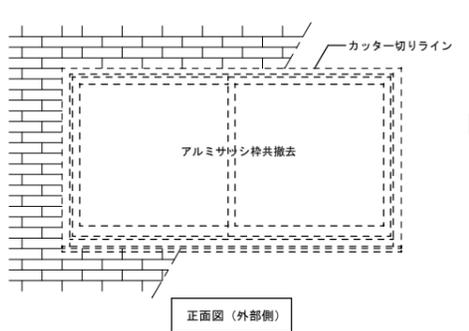
A1: S=1/20
A3: S=1/40





現況 → 改修後

開口塞ぎ建具	幅	高さ
AW-14	1800	900
AW-16	1800	700



伊賀市総合福祉会館

S-1 警報板 ステンレス切文字 2カ所
 本体：SUS304 HL 9文字
 寸法：500×500 t-5 9文字

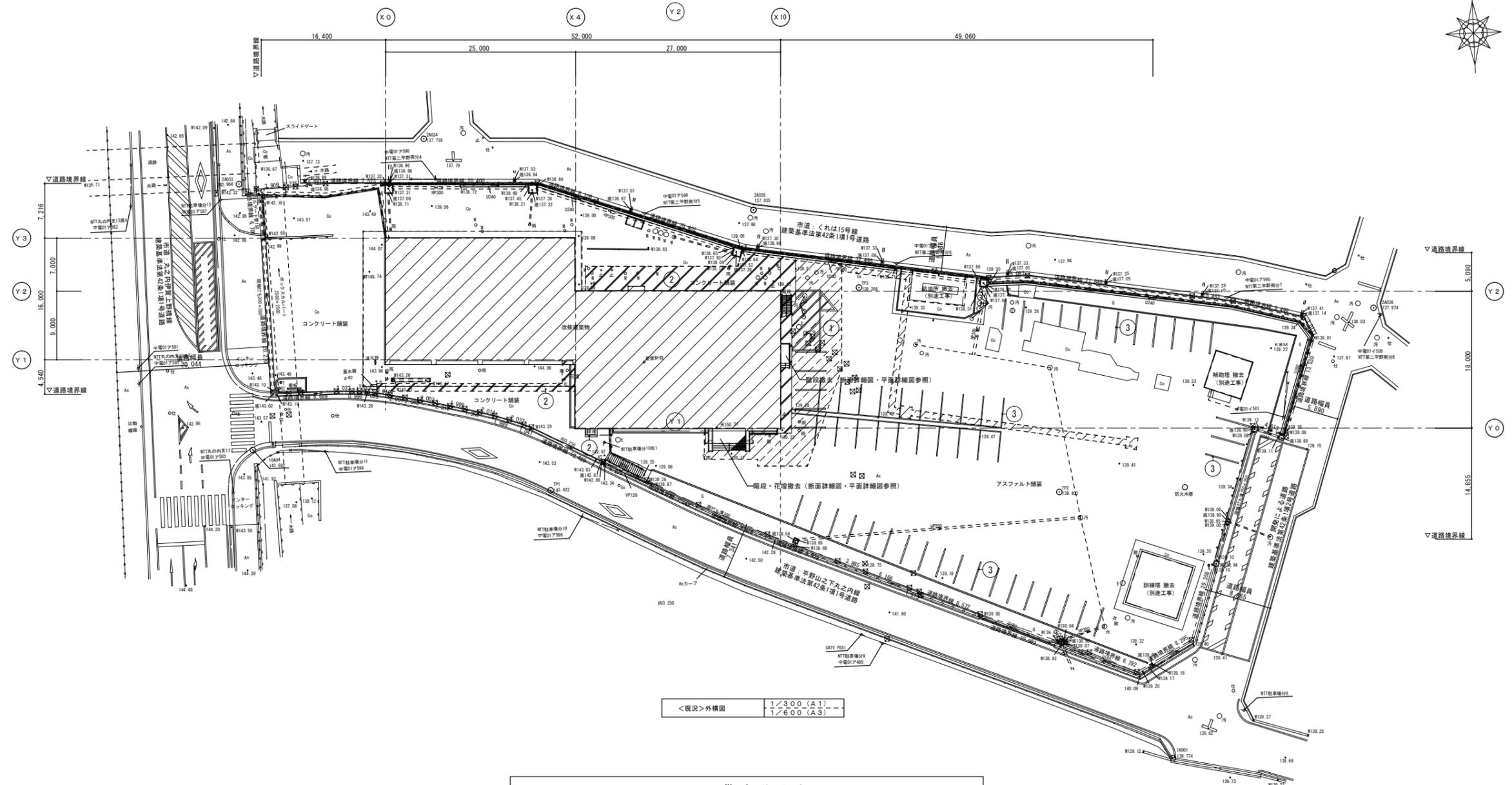
S-2 木製室名札 側面型 TW200 1カ所
 本体：フレーム：タモ材 OSQ塗装
 フラット・アルミ型材 付付塗装仕上
 表示基板：アクリルマット板 15 UV印刷
 寸法：208×199 t-18
 表示方法：UV印刷（花柄等多色刷り）
 ※サイン記号はJISZ8210によるデザインとする

S-3 木製室名札 正面型 TW200 5カ所
 本体：フレーム：タモ材 OSQ塗装
 フラット・アルミ型材 付付塗装仕上
 表示基板：アクリルマット板 15 UV印刷
 寸法：198×199 t-15
 表示方法：UV印刷（花柄等多色刷り）
 ※サイン記号はJISZ8210によるデザインとする

S-4 木製室名札 正面型 TW110 23カ所
 本体：フレーム：タモ材 OSQ塗装
 フラット・アルミ型材 付付塗装仕上
 表示基板：アクリルマット板 15 UV印刷
 寸法：290×110 t-15
 表示方法：UV印刷（花柄等多色刷り）

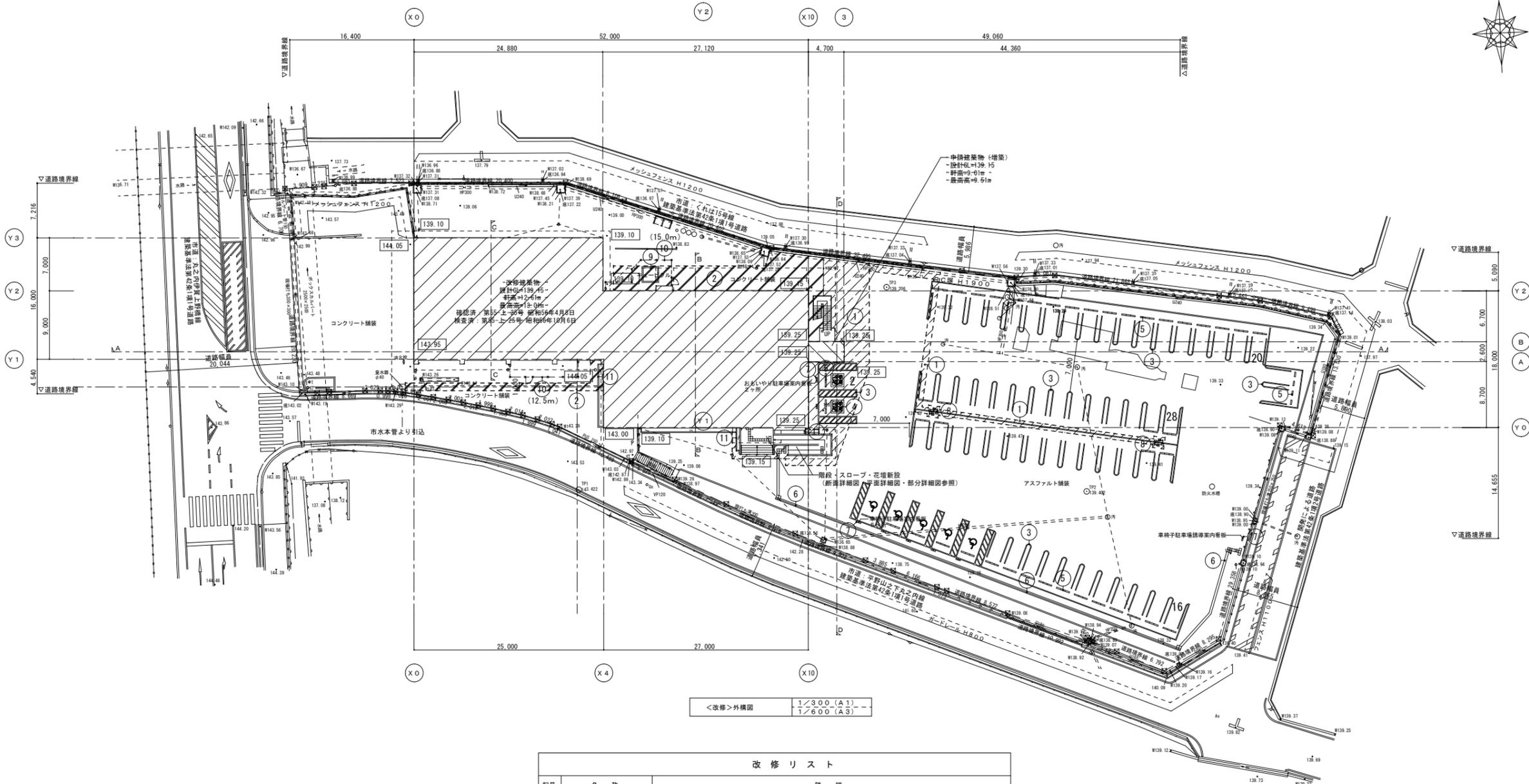
S-5 アクリル表示板 来客案内板 1カ所
 本体：アクリル t-5
 ※文字の色、書体、及び文字内容は現場打ち合わせとする。

S-6 手すり点字表示 14カ所
 本体：ポリカーボネイト樹脂板
 寸法：1F=220×60 6枚×2両側手すり
 2F=240×60 2枚

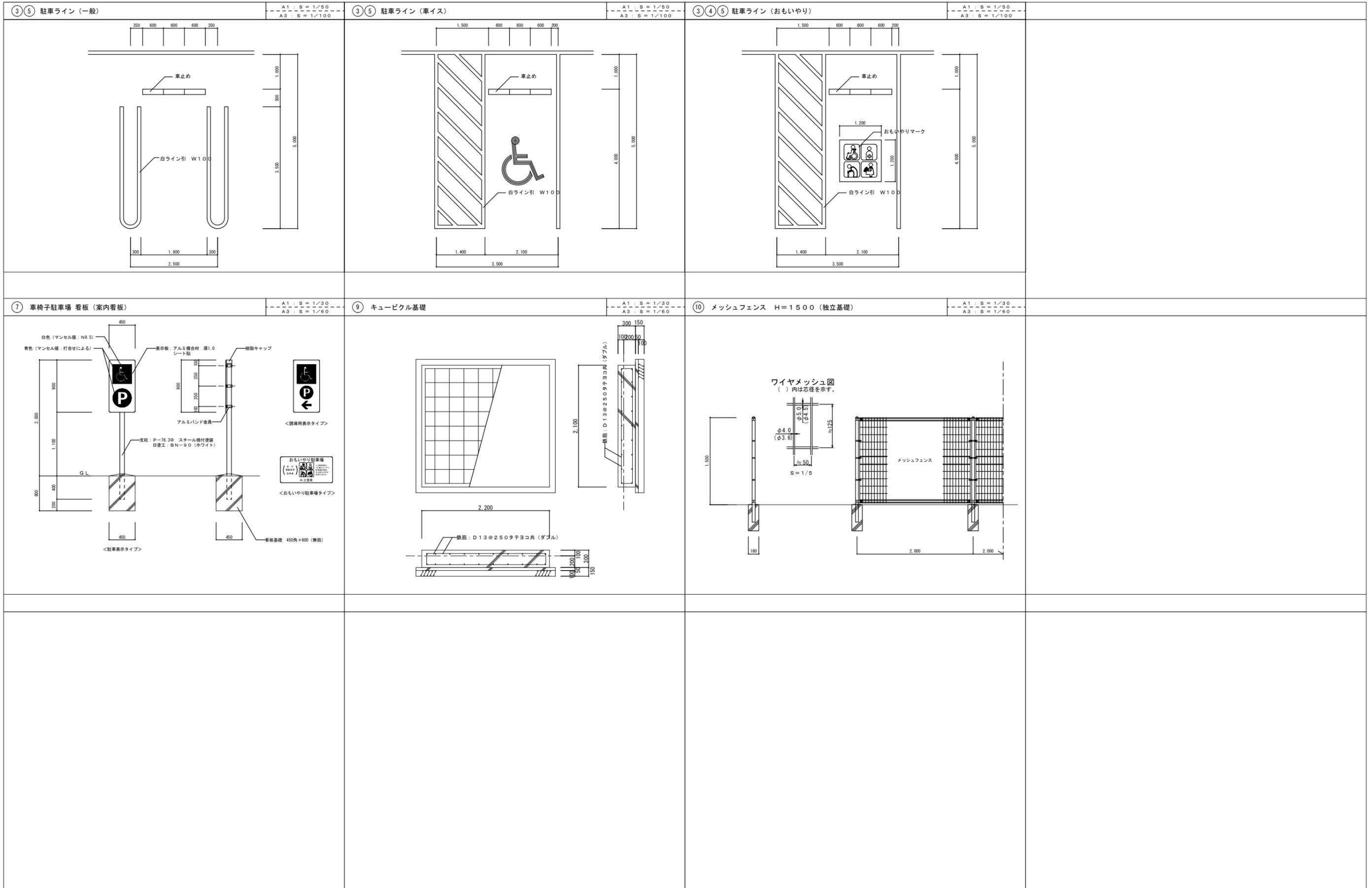


<現況>外構図 1/300 (A1) 1/600 (A3)

撤去リスト		
記号	名称	詳細
①	アスファルト舗装 撤去	既設アスファルト舗装 周囲カッター切りの上、撤去 (アスファルト厚50、砕石厚150) (舗装面積 A=229㎡)
②	コンクリート舗装 撤去	既設コンクリート舗装 周囲カッター切りの上、撤去 (コンクリート厚150、鉄筋：タテヨコD10@200(シングル)) (舗装面積 A=155㎡) 一部花壇・縁台 撤去
③	白線ライン引き 消去	W100



改修リスト		
記号	名称	詳細
①	敷部分 アスファルト舗装	表層: 密粒質アスコン 厚50、路盤工: RC-40 厚150、地盤改良 厚300 固化材使用料80kg/m ³ (舗装面積 A≒207m ²)
②	コンクリート舗装	コンクリート 厚150 金ゴ子挿入、鉄筋: タテヨコD10@200 (シングル)、 路盤土掘取り合い埋込筋アンカー: D10L450@200、砕石 厚100 (舗装面積 A≒143m ²) 一部花壇復旧共
③	白線ライン引き	駐車区画・身障者駐車区画・身障者マーク: W100
④	おもいやりマーク	1200×1200
⑤	車止め	PC: 100×100×600 (アンカー+接着剤止め)
⑥	点字タイル	視覚障害者用誘導ブロック300角 織状・点状
⑦	車いす駐車案内看板 おもいやり駐車案内看板	自立式 W450×H900 アルミ複合板 厚1.0 シート貼 H2000 8分所 (誘導看板共) (外構詳細図参照)
⑧	ガードパイプ	ガードパイプL型 500×500×H900 4ヶ所 スチール製φ60.5×t2.8、基礎コンクリート: 300×300×H250、砕石厚+φ0
⑨	設備機械基礎	キューピクル基礎: 2200×2100×H300 (外構詳細図参照)
⑩	メッシュフェンス	メッシュフェンス H1500 (FMA1500: 朝日フェンス 同等品)、独立基礎、面W1000 2ヶ所 (外構詳細図参照)
⑪	レンガ積復旧	レンガ積 地盤H500+地中H100、基礎ベースコンクリート厚100 W200 ワイヤメッシュφ150角共 (総延長 L≒7m) (外構詳細図参照)



特記	工事名	(仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事 (建築主体工事)			承認	管理建築士	印
	図名	外構詳細図	縮尺	1/30 (A1) 1/60 (A3)	図番	A-81	図面提出日